

経済指標解説

2013年12月6日

主要な経済指標の発表予定と予測

(12/9~12/13)

経済調査部 エコノミスト

坂中弥生

03-3591-1242

yayoi.sakanaka@mizuho-ri.co.jp

【来週の注目材料】※（ ）内はみずほ総研予想

- 9日 : 7~9月期の実質GDP成長率2次速報 (前期比+0.7%、年率+3.0%)
 : 10月の経常収支 (1,489億円の黒字、前年比▲64.6%)
 : 11月の景気ウォッチャー調査
- 10日 : 10~12月期の法人企業景気予測調査
 : 11月のマネーストック
 : 11月の消費動向調査
 : 10月の第3次産業活動指数 (前月比+0.1%、前年比+0.9%)
- 11日 : 10月の機械受注統計 (船舶・電力を除く民需) (前月比+0.2%、前年比+17.3%)
 : 11月の国内企業物価指数 (前月比+0.1%、前年比+2.7%)
- 13日 : 10月の設備稼働率

経常利益は7四半期連続の 前年比増益

7~9月期の法人企業統計(12/2発表)では、経常利益が前年比+24.1% (4~6月期同+24.0%)と7四半期連続の増益となった。固定費削減が続いたほか、売上高が6四半期ぶりに前年比プラスとなり増益に寄与した。業種別にみると、製造業では化学・輸送用機械、非製造業では建設・不動産などが増収増益となった。

来週は実質GDP(2次速報)、機械受注などが発表される。

実質GDPは1次速報から 上方修正

9日に発表される7~9月期の実質GDP(2次速報)は、前期比+0.7% (年率+3.0%)と1次速報(前期比+0.5%、年率+1.9%)から上方修正されると予測する。設備投資・民間在庫投資・公共投資がそれぞれ上方修正される見通しである。外需が大幅なマイナス寄与となる中、公的需要と民間在庫投資の寄与が大きく、民間最終需要が伸び悩んだという図式は1次速報時点と変わらないだろう。なお、今回は2012年度分が確報値になるため、数値が大きく変動する可能性がある。

経常黒字は2カ月ぶりに前 年比減少

9日に発表される10月の経常収支は、1,489億円の黒字、前年比▲64.6% (9月5,873億円の黒字、同+14.3%)と予測する。円安の影響などから所得収支の黒字幅拡大が続く一方、原油輸入の増加などにより貿易赤字が拡大するため、経常収支の黒字額は前年比縮小する見込み。

第3次産業活動指数は前月比小幅のプラス

10日に発表される10月の第3次産業活動指数は、前月比+0.1%（9月同▲0.2%）と予測する。気温が高めで推移したことなどから秋・冬物の販売が鈍化し卸売・小売業の活動指数が低下する一方で、土木建築サービス業の活動指数などが上昇し、第3次産業活動指数は前月比小幅のプラスとなる見込み。

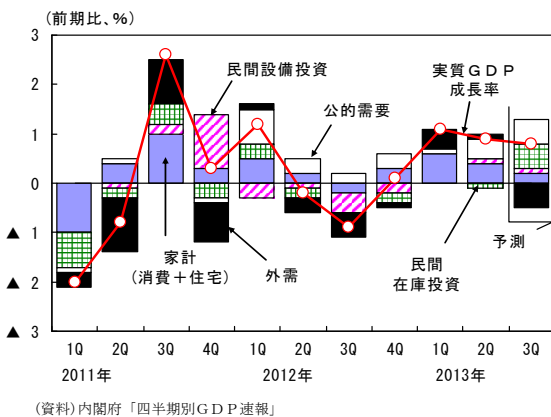
機械受注は2カ月ぶりに増加

11日に発表される10月の機械受注統計（船舶・電力を除く民需）は前月比+0.2%（9月同▲2.1%）と予測する。建設業や電気機械、一般機械などからの受注が増加し、船舶・電力を除く民需は小幅ながら前月比プラスとなる見込み。

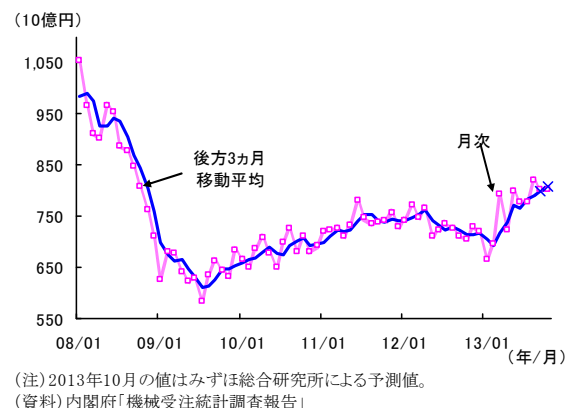
国内企業物価は上昇

11日に発表される11月の国内企業物価指数は前月比+0.1%、前年比+2.7%（10月前月比▲0.1%、前年比+2.5%）と予測する。建設関連需要が堅調である中、鉄鋼などで円安による輸入コスト上昇分の価格転嫁が進んでおり、国内企業物価指数は2カ月ぶりに前月比プラス、前年比ベースでもプラス幅が拡大する見通し。

図表1 実質GDP成長率の推移



図表2 機械受注（船舶・電力を除く民需）の推移



執筆担当～ 坂中弥生

予測担当～ 実質GDP成長率（2次速報）：山本康雄、経常収支：中村拓真、

第3次産業活動指数・機械受注統計：坂中弥生、国内企業物価指数：風間春香

米国主要経済指標（ダイアリー掲載分）：山崎亮

●当レポートは情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。本資料は、当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることもあります。

【 来週のダイアリー 】

日付	経済指標等	予想	前回	前々回		
12/6(金)	米	雇用統計(11月)				
		失業率	[7.2%]	7.3%	7.2%	
		非農業部門雇用者数	[+199千人]	+204千人	+163千人	
		時間当たり賃金(全従業員ベース)	[+0.2%]	+0.1%	+0.1%	
		個人所得(10月)	[+0.3%]	+0.5%	+0.5%	
	消費支出(10月)	[+0.2%]	+0.2%	+0.3%		
	コアPCEデフレーター(10月)	[+1.1%]	+1.2%	+1.2%		
	ミシガン大消費者信頼感指数(12月速報)	[76.0]	75.1	73.2		
12/7(土)	日	黒田日銀総裁講演(東京大学公共政策大学院)				
12/8(日)	中	貿易収支(11月)	米ドル	+215億 ^{ドル}	+311億 ^{ドル}	+153億 ^{ドル}
		輸出総額(11月)	前年比	+6.5%	+5.6%	▲0.3%
		輸入総額(11月)	前年比	+7.0%	+7.6%	+7.4%
12/9(月)	日	GDP(7~9月期2次速報)	前期比	[+0.7%]	7~9月期1次速報 +0.5%	4~6月期 +0.9%
		国際収支(10月速報)	経常収支(前年比)	[+1,489億円]	+5,873億円	+1,615億円
			貿易収支(前年比)	[▲64.6%]	+14.3%	▲63.7%
				[▲10,017億円]	▲8,748億円	▲8,859億円
		景気ウォッチャー調査(11月)	現状判断DI	N.A.	51.8	52.8
	全国企業倒産件数[帝国データ](11月)		N.A.	918件	817件	
	中	中国消費者物価指数(11月)	前年比	+3.1%	+3.2%	+3.1%
12/10(火)	日	第3次産業活動指数(10月)	前月比	[+0.1%]	▲0.2%	+0.6%
		マネーストック(11月速報)	M2 前年比	+4.3%	+4.1%	+3.9%
			M3 前年比	+3.5%	+3.3%	+3.1%
			広義流動性 前年比	N.A.	+4.1%	+3.8%
		法人企業景気予測調査(10~12月期)				
		30年利付国債入札				
		消費動向調査(11月)	消費者態度指数	N.A.	41.2	45.4
	中	鉱工業生産(11月)	前年比	+10.1%	+10.3%	+10.2%
	米	3年国債入札				
12/11(水)	日	機械受注(10月)	前月比	[+0.2%]	▲2.1%	+5.4%
		[船舶・電力を除く民需]	前年比	[+17.3%]	+11.4%	+10.3%
		国内企業物価指数(11月)	前月比	[+0.1%]	▲0.1%	+0.2%
		前年比	[+2.7%]	+2.5%	+2.2%	
	米	10年国債入札				
12/12(木)	日	5年利付国債入札				
	米	小売売上高(11月)	前月比	[+0.8%]	+0.4%	±0.0%
		失業保険新規申請件数(~12/7)		[318千人]	298千人	321千人
	30年国債入札					
	尼	金融政策決定会合				
韓	金融政策決定会合					
比	金融政策決定会合					
12/13(金)	日	設備稼働率(10月)		N.A.	98.4	97.2
	米	生産者物価指数(11月)	前月比	±0.0%	▲0.2%	▲0.1%
		[食品・エネルギーを除く]	前月比	+0.1%	+0.2%	+0.1%

予想：[]はみずほ総合研究所予想、それ以外はコンセンサス(Bloomberg等)。予定は変更になる可能性があります。
 日：日本、米：米国、欧：欧州、英：英国、独：ドイツ、中：中国、韓：韓国、印：インド、尼：インドネシア、
 泰：タイ、比：フィリピン、伯：ブラジル、馬：マレーシア